



第 188号

平成 26 年 11 月 1 日

小松市史編纂事務局

へんさんだより

市史へんさん



10 月は、2 週つづけて台風が接近し、大雨が降り、荒れた天候が続きました。台風が去ってからは、秋が一段と深まり、紅葉の鮮やかな季節がやってきました。文化たけなわの秋。読書の秋。いろんなことが実になる秋です。この機会にいっぱい身に付けましょう!!

さて、11 月 16 日にはいよいよ市史講座が開催されます。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

第 64 回 市史講座

小松出身「其方」の

狂歌について

講 師：綿拔 豊昭 氏（筑波大学教授・小松市史専門委員）

日 時：11 月 16 日（日） 10 時～12 時

会 場：小松市公会堂 4 階 大会議室

受講料：無料（事前予約不要）



流聞軒其方狂歌絵日記（石川県立歴史博物館所蔵）

<内容>

俳句や短歌に親しむ機会があっても、狂歌を歌う人は少ないですね。それもそのはず故事や古典を歌に盛り込むなんて、相当な作歌能力がなければできません。ところがこの其方さん、いとも簡単に、祭りや行事を書き記しながらその感想まで盛り込んで歌っています。このうまさ、おもしろさを綿拔先生がバサッと切り込みます。

榊原守典(拙處) さかきぼら もいのり(せっしょ)

『美術工芸編』発刊の一助にと、榊原拙處画の山水図2幅が寄贈されました。

拙處は書画の雅号、名を守典。集義堂の教授として、文久3年(1883)までの4年間、小松に在勤しました。学問もさることながら、詩文に長じ、画も良く、書も名手で、集義堂の扁額「集義」を書いたことは有名です。また、孝経千枚を写すことを念願し、毎日、楷書で千四枚書いて実現しました。

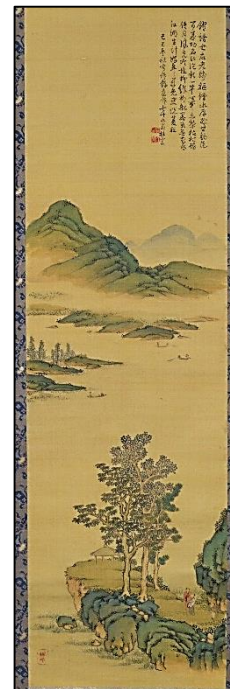
書画を頼まれても、謝礼は受け取らず、代わりに稗一俵を貰い、備蓄して飢饉に備え、飢える人々を助けた奉仕者です。

市内に拙處画の作品は少なく、初お目見えということで、今回の『美術工芸編』の中で紹介していく予定です。

また、拙處は、金子鶴村と親交があり、白山市立博物館で開催中の企画展『金子鶴村をめぐる人々ー加賀の文人たちー』で、この2幅が11月30日まで展示公開されています。



湖山春晴図



秋山水図

建築調査のご協力をお願い

「建築編」発刊に伴う古民家調査が始まりました。築50年経てば文化財と言われます。古い家は、内部の平面図等を取りますので、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

<事務局 10月の活動状況>

- ・ 10月9・16・30日 建築調査(延命閣)
- ・ 10月10・13日 幟旗・棟札調査
- ・ 10月11・30日 産業調査(文書・温泉)
- ・ 10月16日(木) 建築調査(合掌造民家)
- ・ 10月19・30日 建築調査(山間部民家)
- ・ 10月19・22日 美術作品・文書調査
- ・ 10月23日(木) 図面資料調査

<事務局 11月の活動予定>

- ・ 11月1・2・3・5・6・10・13・19・22日 建築調査
- ・ 11月16日(日) 第64回市史講座
- ・ 11月27日(木) 産業部会

<11月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

は小松市史編纂事務局(図書館2階)が閉室しています。

市史編纂担当(小松市教育委員会生涯学習課)

小松市史編纂事務局(小松市立図書館2階)

・住所 〒923-8650 小松市小馬出町91

・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19

・TEL 0761(24)8274 ・FAX 0761(23)3563

・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763

・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp

・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>